別記様式第１号（第４条関係）

木津川市行財政改革推進委員会　会議経過要旨

<table>
<tr><td>会　議　名</td><td colspan="3">令和８年度第１回　木津川市行財政改革推進委員会</td></tr>
<tr><td>日　　時</td><td>令和８年８月１３日（木）
午後２時～午後４時３１分</td><td>場　所</td><td>木津川市役所本庁舎５階
全員協議会室（公開）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">出　席　者</td><td>委　　員
（出席：■
欠席：□）</td><td colspan="2">■新川委員（会長）　■壬生委員（副会長）
□原田委員　■田中委員　■山岡委員　■山口委員
■上田委員　■岡田委員　■松村委員</td></tr>
<tr><td>その他出席者</td><td colspan="2">谷口市長＜挨拶のみ＞
（担当課：総務部財政課）
奥田総務部長、清水総務部次長（財政課長事務取扱）、
若狭担当課長、宮本課長補佐
（傍聴者）１名</td></tr>
<tr><td>庶　　務</td><td colspan="2">（事務局：企画戦略部デジタル推進課）
茅早企画戦略部長、中谷デジタル推進課長、岩橋係長、
下吹越主任、小馬専門員</td></tr>
<tr><td>議　　題</td><td colspan="3">１．開　　会
２．議　　事
（１）第１０期委員会会長・副会長の選出について
（２）委員会議事録の氏名表記について
（３）第４次木津川市行財政改革行動計画の進捗状況について
（４）木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画（第１期）の進捗状況について
（５）令和８年度行財政改革推進委員会の議事について
（６）令和８年度外部評価について
３．そ の 他
（１）木津川市行革推進委員会運営内規の改正について
（２）令和６年度補助金等評価結果について
４．閉　　会</td></tr>
<tr><td>会議結果要旨</td><td colspan="3">・委員の互選により、第１０期委員会の会長に新川委員、副会長に壬生委員を選出した。
・委員会議事録の氏名表記については、記名しないことを決定した。
・第４次木津川市行財政改革行動計画の進捗状況について、令和７年度の実施状況及び令和８年度からの対応について報告を受けた。
・木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画（第１期）の進捗状況について報告を受けた。
・令和８年度行財政改革推進委員会の議事について、今年度が第４次木津川市行財政改革行動計画及び木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画の見直しの年に当たり、これらに加え、外部評価も実施する必要が</td></tr>
</table>

	あることから、委員会の開催回数を１回追加して年５回とし、外部評価を４項目とすることを決定した。 ・令和８年度外部評価実施要領（案）について、原案のとおり決定した。 ・令和８年度外部評価対象項目の選定を行い、次の項目で実施することを決定した。 〇実現戦略⑫　新たな視点による行政運営マネジメントシステムへの転換 〇実現戦略㉑　保有資産の可視化 〇実現戦略㉓　近隣団体との連携による共同運営・相互利用等の推進 〇実現戦略㉔　未利用・低利用資産の更なる有効活用
会議経過要旨 ◎：議事・進行 〇：質問・意見 ⇒：説明・回答	開会に先立つ挨拶 ◎開会に先立ち、谷口市長より挨拶があった。 ・本年度は、第４次木津川市行財政改革行動計画及び木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画の見直しの時期にあたる。いずれも本市の将来に関わる重要なもので、委員の皆様に忌憚のない意見を賜りたい。 ◎委員相互に自己紹介を行い、加えて事務局職員の紹介を受けた。 参考資料１　木津川市行財政改革推進委員会（第１０期）委員名簿 ※谷口市長は公務のため、ここで退席。 １．開　　会 ◎山岡委員を、本日の会議録署名委員に指名した。 ２．議　　事 （１）第１０期委員会会長・副会長の選出について ◎委員の互選により、会長には新川委員、副会長には壬生委員を選出した。 ◎会長・副会長の就任あたり、新川会長及び壬生副会長から挨拶があった。 新川会長挨拶（要約） ・今期は、第４次木津川市行財政改革大綱・行動計画に加えて、公共施設等総合管理計画の見直しの時期であり、重要な節目の委員会ということになる。 ・皆様方と一緒に、充実した議論を通じて、これからの木津川市の行財政の基盤を、より堅固なものにしていく、そして将来への見通しが成り立ちやすい、そういう木津川市政を支えていける行財政を考えていければと思っているので、よろしくお願いしたい。 壬生副会長挨拶（要約） ・人口減少、気候変動、防災など、木津川市でも考えていかなければならないことが山積みであるが、一歩ずつでも着実にその課題に対応するこ

	とができるように、この委員会でも皆さんと一緒に議論を重ねていきたいと思っているので、よろしくお願いしたい。 **（２）委員会議事録の氏名表記について** 資料１－１　行財政改革推進委員会会議記録における発言委員の氏名表記の状況（近隣市及び京都市） ◎事務局から、委員会議事録への委員の氏名表記について、近隣市等の状況及び委員に対する事前調査の結果報告を受けた。 ※氏名表記にかかる事前調査の結果 （同意する：３名、同意しない：５名、どちらでもよい：１名） 意見・質疑応答など ○他市の状況もさることながら、当市の他の委員会では氏名表記されているので参考にしていただきたい。また、本件については、委員全員の同意が必要という認識でいいか。 ⇒本市の他の委員会の状況を調べたところ、都市計画審議会については、議事録に氏名表記がありますが、それ以外の委員会については、確認できませんでした。 ◎こうした委員会で意見を陳述していただく上で、それぞれの委員の立場等を考えると、単純に多数決とはいかないだろうと考えており、まずは、全委員の同意をベースに委員名の表記ができればと考えている。 ○自由な議論による委員会の活性化という視点からすれば、あえて氏名表記する必要はないと考える。個人情報保護の観点も含めて考えていただきたい。 ○議事録を見た一般市民から、氏名表記して欲しいといった意見が寄せられている状況はあるか。 ⇒事務局ではこうしたご意見は伺っておりません。 ◎現時点では、議事録での氏名表記は差し控えるという方針で決定させていただきたいと思うが、各委員よろしいか。 【異義等なし】 **（３）第４次木津川市行財政改革行動計画の進捗状況について** 資料２－１　第４次木津川市行財政改革行動計画進捗状況報告（令和７年度末） 資料２－２　第４次木津川市行財政改革行動計画実現戦略取組概要等一覧（令和７年度末） 資料２－３　第４次木津川市行財政改革行動計画実現戦略取組評価シート（令和７年度末） 資料２－４　第４次木津川市行財政改革行動計画実現戦略取組評価シート（令和８年度） 資料２－５　第４次木津川市行財政改革行動計画実現戦略個表見直し一覧（令和８年度） ◎事務局から、第４次行財政改革行動計画の令和７年度末時点における進捗状況及び令和８年度からの対応について、報告を受けた。

	意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：事務局発言】 ○実現戦略について、８割達成できたら目標達成という定義づけなのか。 ⇒目標達成とは、実現戦略の個表に記載した到達目標を実際に達成できたということを指し、一律８割ということではありません。実現戦略㉕「公共施設包括管理業務委託導入可能性の検討」のように、行動内容をすべて完了（包括管理事業を導入）したものは、今後の取組の方向性について「取組終了（目標達成による）」としています。 ○この評価は、内部評価であり、寛大化傾向が見受けられる。外部の評価も考えているのか。 ⇒本委員会において、昨年度・一昨年度に各４項目の外部評価を実施いただいており、本年度もお願いしたいと考えています。 ○実現戦略⑮「木津川市スマート化宣言の具現化・具体化による取組みの加速」について、資料２－３ の今後の取組の方向性（木津川市デジタル田園都市構想総合戦略の策定・推進）に疑問がある。スマート化とは、計画策定等ではなくペーパーレス化など具体的なデジタル手法で事務の無駄を省き、職員配置などにも反映させることだと思う。 ⇒スマート化、デジタル化について、今後行政が取り組んでいかなければならない方向性は、ご指摘のとおりと考えています。こうした取組を盛り込んでデジタル田園都市構想総合戦略を定めているため、現在のような記載としています。 ○例えば、前年の取組効果として黒板のデジタル化が出ているが、これはデジタル田園都市構想としての評価は良いとしても、行革としての評価対象ではないと思う。行政サービスの加速が大事なことであって、令和８年度の目標設定には不満なところがある。 ⇒今後については、ご指摘いただいた部分も踏まえ、より具体的な行革の取組みとなるよう、記載方法を考えていきたいと考えています。 ◎本来のスマート化という行革目標に対応した内容・方向性を分かりやすく記載していただければと思う。 ○目標なくして、成果なし、効果なしと考えており、目標設定と実績があって然るべきだと思う。設定指標が全く書かれていない項目が多々見受けられたが、考え方を教えてもらいたい。 ⇒具体的な指標がないことについては、これまでの委員会でも多くの委員からご指摘をいただいており、今年度の個表（資料２－４）の設定にあたり、事務局で関係各課と調整し、可能な限り具体的な数字が入るように見直しを行っています。それを取りまとめたものが、 資料２－５ となっています。 ○資料２－４において、実現戦略①「マチオモイな人たちの発掘・育成・支援」では、今年度から地域交響プロジェクトの採択件数を新たに設定指標としている。一方で、実現戦略⑮「木津川市スマート化宣言の具現

化・具体化による取組みの加速」では、オンライン申請対応件数を新たに設定指標としている。指標の計上方法が戦略毎に異なるが、どう整理しているのか。

⇒地域交響プロジェクトの採択件数は、地域で様々な活動をしている方が、京都府が実施している「地域交響プロジェクト」に申請をされて、実際に採択された件数を設定指標にしており、地域の活動を示す指標です。

一方、オンライン申請対応件数は、市民が電子申請できるように体制を整えた行政手続きの件数であり、行政の活動を示す指標です。このように、それぞれ性質が違う指標として整理しています。

（４）木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画（第１期）の進捗状況について

資料３－１　施設類型別個別施設計画（第１期）の進捗状況の概要
資料３－２　木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画（第 1 期）

◎総務部財政課から、木津川市公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画（第１期）の進捗状況について、資料３－１、３－２をもとに説明を受けた。

意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：担当課発言】

○延床面積を目標とすることが一番分かりやすいとは思うが、なぜ延床面積なのか単純な疑問がある。必要な施設は残して維持し、利用が少ない施設は削減することが望ましいと思う。単純に延床面積を減らすことは、市民が望むことと離れていくのではないか。

⇒木津川市は３町が合併してできた市で、図書館など様々な施設が３つあります。このため、建物の長寿命化・転用を行いつつ重複する施設を１つにする目標を掲げています。

また、延床面積については分かりやすい指標であると考えています。

○ 資料３－１ の１ページの廃止による削減のうち、市営住宅の建て替えに伴う解体とある。安価な価格で住居を提供していることは理解できるが、これは一般的な市営住宅なのか。

⇒市営住宅は、公営住宅法に基づいて、低所得の方などの住宅環境を整備するもので、本件はこれに該当するものです。

○この計画には橋梁や道路について、順次改修維持をしていくと書かれている。他の自治体では、首長が、将来的に使わなくなる山間部の橋は、道路も含めて改修しないことを宣言したと新聞に掲載されていた。木津川市の山間部の橋梁施設、道路の維持について、財政的にどう考えているのか。

⇒全国的に人口減少の局面に入っているため、収入に合った事業の実施は

	必要ですが、現時点においては、引き続き維持管理をしていきたいと考えています。 ○公共施設については、時代の変遷とともにスクラップアンドビルドの必要性を感じている。市民の意見、市民の声が大切だと言うが、パブリックコメントは実施しているのか。例えば加茂保健センターはどうか。 ⇒加茂保健センターは、非常に老朽化した施設であり、耐震性もない状況であったことから、パブリックコメント等は実施していません。 そのほか、売却等が地域に影響を与える可能性があるものについては、地域のご意見を伺いつつ進めていきたいと考えています。 ○少子高齢化に伴い、削減することも大事だが、新しくもっと魅力的な施設を作ることも考えていただきたい。他の自治体の例では、老朽化の激しい図書館が廃止され、複合施設が完成してからは、たくさんの人が来るようになったケースがある。公共施設には、人の流れを変える力が大きくあると思う。削減するとともに、木津川市の公共施設の在り方、方向性が市民に見えるように示していただきたい。たとえ、不便を感じることや、疑問に思うことがあっても、次の展望が分かれば、納得に繋がると思う。 ⇒ご指摘のとおり、人を集めるためにもっと良いものを作る、複合施設を作る、といった考えは当然であり、それを目指していくところです。 例として図書館を挙げますと、現在は、長寿命化を図りましたが、次の２０年３０年経ったときには、再長寿命化はできず、３つの図書館をどのように再編していくかが問題となると考えています。また、施設の複合化については、木津人権センター及び木津児童館の複合化を実施したところです。 これらの事例も含め、今後のあり方を考えていく上では、委員からご指摘のあったことに留意して進めていきたいと考えています。 ○この計画では、公共建築物の保有量を３０年間で２８％の削減することとなっているが、３０年後に現在の更新費用の水準を上回らないとも書かれている。常に見直しを行うとは書いているものの、例えば更新費用は物価が動けば変わると思う。この更新費用が上がれば、２８％の削減ではなく、４０％の削減もあれば、その逆もありうると思うが、どのような考え方なのか。 ⇒物価だけでなく、市民ニーズもその時代で変わるものと考えています。ただ、施設の維持管理経費等を削減しなければ、財政運営が難しいと答えが出ており、時代の動き、物価の状況などを含め、検証・時点修正を行いながら進めていく必要があると考えています。 ○財政面で言えば、当然、費用対効果が求められる。良い例として、奈良市の図書館の利用が挙げられ、これは、市民にもアピールできていると思う。 費用対効果を考えるなら、例えばスポーツ施設など、違う分野でも奈良市や近隣の市町村と共同利用等ができないものか。

	⇒奈良市とは包括連携を締結し、その中で奈良市北部図書館について、一定の費用負担をすることで、奈良市民とほぼ同様に利用できるようにしています。最近では水道についても、近隣の自治体と効率的な維持管理について検討しているところです。ただし、相手方の意向もあり、容易なことではありませんが、近隣の自治体との関係性を築き、広域的な連携によってまちづくりを進めていきたいと考えています。 ◎各委員から様々な意見があった。 ・１つ目は、市民の皆様方のそれぞれのお考え、ご要望などにぜひ配慮をいただきたいということ。 ・２つ目は、その一方で、将来長期にわたる見通しのもとで、インフラも含めた施設のあり方について、しっかり検討をしていただきたいということ。 ・３つ目は、公共施設については、当初計画から社会経済の動向、市民の意向も変わっており、柔軟に目標の設定や、費用のかけ方を適宜反映させ、計画を進めていただきたいということ。 ・全体としては、将来の人口減少、社会全体の縮退などの中で公共施設をどのように維持管理し、市民サービスの維持に繋げていくかがポイントになる。今後とも計画を進捗させることと併せ、常に見直しを心がけていただきたい。 **（５）令和８年度行財政改革推進委員会の議事について** 資料４－１　令和８年度行財政改革推進委員会の議事（案） 追加資料４－２　各計画の概要及び見直し（案） 追加資料４－３　令和８年度行財政改革推進委員会スケジュール（案） ◎事務局から、令和８年度行財政改革推進委員会の議事（案）について提案を受けた。 ※今年度の議事にかかる事前調査の結果 （９名全員：日程が合えば５回開催可） 意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：事務局等発言】 ○公募委員の立場からすれば、資料４－３ 案２の外部評価重視型が良いと感じる。できるだけ、外部評価に触れたい気持ちでいる。 ○事前調査結果からも選択肢は、案２・案３の二者択一になると思う。案２の方が、外部評価が４項目あるので良いと思う。 ○普段、外部評価について、一つのテーマにどれぐらい時間を要し、議論しているかが分からない。 たくさんできた方が良いとは思うが、詰め込むことでどれも中途半端に終わってしまうことになれば本末転倒だと思う。各案のメリット・デメリットがあれば教えてもらいたい。

	⇒本年度は、計画の更新のタイミングが重なってしまい、非常に案件が多くなっています。当初は、例年どおり年４回開催のスケジュール案をお示ししましたが、これに加えて５回開催のスケジュール案を２案お示ししました。 まず、外部評価については、担当課と直接ご議論いただく点では、非常に有意義であると考えています。 　次に、行財政改革大綱と行動計画の見直しについては、６年間の計画期間であり、今年度に改定しても、反映できる時期が令和９年と１０年の残り２年間となります。また、大綱等については、令和４年度に策定した際に、本委員会でご議論いただき、しっかりした構成で作っていること、さらには外部評価も実施していただいていることから、大きな枠組みは変えたくないと考えています。事務局としては 資料４－２ のとおり、どうしても行動計画の一部に実態と合わない部分が出ているため、その部分の修正を進めていきたいと考えています。 ◎公共施設等総合管理計画についてもお願いする。 ⇒当初の２８％削減目標よりも高い削減目標を設定する方向性もありうると考えていますが、ご意見をいただいたとおり、市民が求めるものも年々変わっていくため、削減目標を含めて、現在の計画の基本方針は維持したいと考えています。 ◎行革大綱については、６年間の計画の中間ということで、残りの９年度１０年度で実現目標をより確実にしていくといった位置付けになろうかと思っている。 一方、公共施設等総合管理計画については、１０年目を迎えることもあり、現時点での社会経済情勢の動向、あるいは市民の皆様方の意向、更には、本市の将来にわたる財政事情等々も踏まえて、現時点での修正も視野に入ってくると思う。各計画の改定に関わる本委員会の重み、従来から実施してきた外部評価の作業を考慮して委員の皆様のご判断をいただければと思う。 ○例えば、公共施設等総合管理計画は令和８年を目途に見直しを図るとなっているが、見直しという意味では、令和７年、令和６年に比べると多くの時間を割いた方がいいということか。 ⇒公共施設等総合管理計画については、８年度が見直しの時期になっていますので、新たな議題となり、例年よりも多くの時間が必要と考えています。 ○本委員会の会議時間は約２時間で、外部評価は１項目でも１時間を要する。そこに計画の中間見直しが２件あるため、綺麗に割れば、３０分ずつ事務局等からご説明をいただき、私どもでディスカッションすることになる。計画の見直しに関する分かりやすい資料の作成、早期送付に努めていただき、私どもが確認する時間を作っていただく必要があると思う。 ◎大綱の見直しについては、大きな変更はもうできないと思うが、公共施

	設等総合管理計画の方は、これまでの進捗や現在の環境変化も踏まえ、検討しなければならず、ウエイトとしては重いと考える。 ○担当課の見直し案では、公共施設等総合管理計画に関しては、基本方針の変更予定はなく、基礎データの更新、対策実績の追加等を行うことに留めたいように見られるが、念のために確認したい。 ⇒今の時点では、当初の２８％削減目標を維持しつつ、時点修正を進めたいと考えています。 ○公共施設等総合管理計画については、特に様々な議論が必要になるものと考えていたが、基本的な方針が変わらないのであれば、大きく変わるような検討をするわけではないということか。 ⇒現状、当初計画と比べると施設の削減については、進捗にかなりズレが生じています。一方で、合併前の３町の施設も現存し、有効利用することが財政運営上必要不可欠となっているため、現時点で削減目標の見直しまで踏み込むことは難しく、時点修正で進めたいと考えています。 ○議員からも２８％削減目標は大変厳しいと意見が出ていると思う。タイミングとしては修正する時期であると思うが、どのように考えているか。 ⇒議員の皆様からも、市民の皆様からも、２８％削減目標については、ご意見をいただいているところです。しかし、既に１回目の長寿命化をした施設は、躯体がもたないため、２回目の長寿命化ができず、できたとしてもその後に莫大な維持管理経費が必要となることが想定されます。その際に魅力ある一つの複合施設などにすれば、大きく面積は減少するものと考えており、これからの人口減少時代において、どれだけの施設が必要であるかの検証も含め、２８％削減目標は維持していきたいと考えています。 ◎委員会のスケジュールとしては、資料４－３ 案２の外部評価重視型とすることで各委員よろしいか。 【異義等なし】 **（６）令和８年度外部評価について** 資料５－１　令和８年度外部評価実施要領（案） 資料５－２　令和８年度「第４次行財政改革行動計画」外部評価シート 追加資料５－３　令和８年度外部評価推薦項目に係る事前調査結果 追加資料５－４　令和８年度外部評価対象項目に係る質疑回答書 ◎事務局から、令和８年度実施要領（案）について説明を受け、実施要領及び外部評価項目の選定について審議を行った。 ①実施要領（案）について 意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：事務局発言】

◎例年通りの進め方ですが、何かご質問、ご意見等ございますか。
【意見等なし】
外部評価の進め方については、資料のとおりとした。

②外部評価項目の選定について
意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：事務局発言】
◎あらかじめ各委員からご推薦をいただいた項目について、資料５－３に取りまとめています。
※複数名の委員から推薦のあった実現戦略
３名推薦（２項目）
⑫「新たな視点による行政運営マネジメントシステムへの転換」
㉔「未利用・低利用資産の更なる有効活用」
２名推薦（２項目）
㉑「保有資産の可視化」
㉓「近隣団体との連携による共同運営・相互利用等の推進」

○複数の方が推薦されたものが４項目あるため、この４項目でよいのではないか。
◎公共施設に集中している部分はあるが、今年度は公共施設等総合管理計画の見直しもあって、皆様の関心が集まっているように思う。複数人から推薦のあった４項目を今年度の外部評価の対象としてよろしいか。
○９名の方が４項目を選ぶと推薦数は３６となるはずだが、資料５－３の推薦数の合計は２７しかない。
⇒委員全員からご回答をいただきました。推薦は１人上限４項目としており、４項目を挙げた方とそうでない方がおられたため、このような結果となっています。
◎他にご意見・ご質問がなければ、今年度の外部評価の項目は、次のとおりとしてよろしいか。
⑫「新たな視点による行政運営マネジメントシステムへの転換」
㉑「保有資産の可視化」
㉓「近隣団体との連携による共同運営・相互利用等の推進」
㉔「未利用・低利用資産の更なる有効活用」
【異義等なし】

３．そ の 他

（１）木津川市行財政改革推進委員会運営内規の一部改正について

資料６－１　木津川市行財政改革推進委員会運営内規の一部改正（案）
◎事務局から、組織改編に伴う所要の改正を行う旨の説明を受けた。

（２）令和６年度補助金等評価結果について

	資料６－２　補助金等評価の結果報告（令和６年度） 資料６－３　補助金等交付ガイドラインに基づく評価一覧表（令和６年度） ◎事務局から、資料の配布をもって報告とすること、市ホームページでも公表している旨の報告を受けた。 **（３）実現戦略取組評価シートに係る委員コメントについて** ◎事務局から、後日改めて各委員に対し、委員コメントの確認依頼を行う旨の報告を受けた。 意見・質疑応答など【◎：会長発言、○：委員発言、⇒：事務局発言】 ○会議記録及び委員会資料の公開について、行財政改革担当課、加茂支所及び山城支所で閲覧することになるのか。 ⇒各窓口のほか、ホームページでも閲覧いただけます。 ○外部評価に興味や関心を持ってもらうことが市民にとって有益であると思っている。外部評価の過程を見ていただくことも非常に大事であり、周知方法を工夫していただきたい。 ⇒周知方法については、事務局で検討させていただきます。 **４．閉　　会**
その他特記事項	特になし。